

Ⅱ 調査結果

1. 暮らし全般

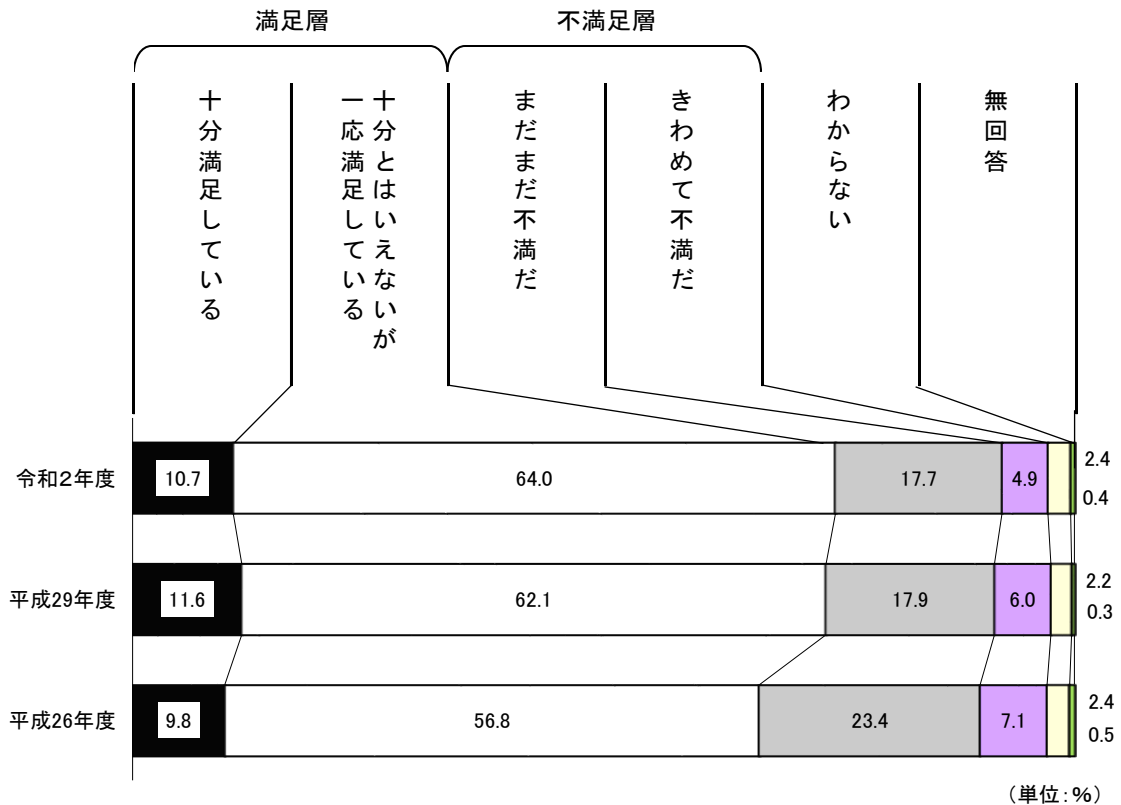
(1) 現在の暮らし向き

問1 あなたは、今のご自分の暮らし向きに満足していますか。それとも、不満ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

現在の暮らし向きは、満足層、不満足層ともに横ばい

現在の暮らし向きについて、「満足層」(「十分満足している」「十分とはいえないが、一応満足している」)の割合は74.7%で、「不満足層」(「まだまだ不満だ」「きわめて不満だ」)は22.6%となっている。

前回調査(平成29年度)と比較すると、「満足層」の割合は1.0ポイント増加、「不満足層」の割合は1.3ポイント減少とほぼ横ばいである。



<属性による比較>

【生活圏別】

「満足層」は、広島地方生活圏が75.5%、備後地方生活圏が72.7%、備北地方生活圏が73.3%と、備後地方生活圏と備北地方生活圏がほぼ均衡している。

【性別】

「満足層」は男性が69.6%、女性が79.2%と、女性の方が9.6ポイント高くなっている。

【年代別】

18・19歳の「満足層」は88.6%と、すべての年代の中で最も高く、40歳代は70.0%と最も低い。

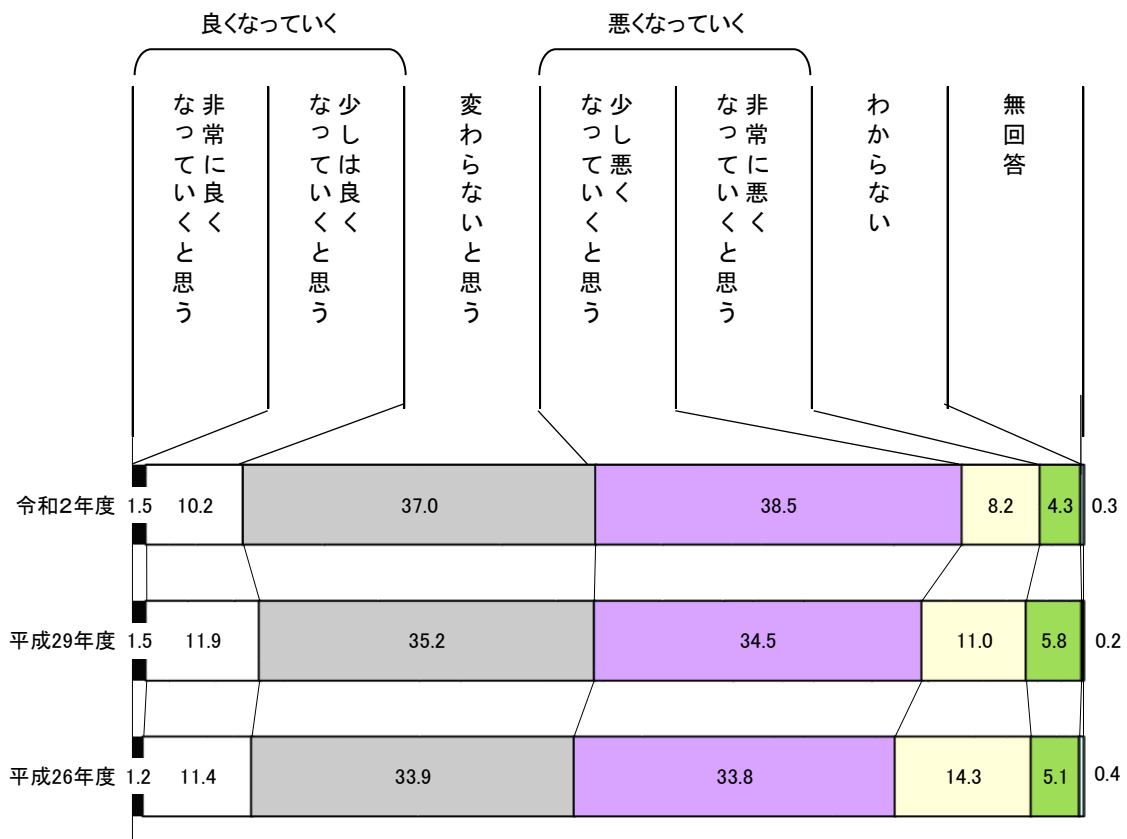
(2) 今後の暮らし向き

問2 今後、あなたの暮らし向きは、良くなっていくと思いますか。悪くなっていくと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

良くなっていく，悪くなっていくともに横ばい

今後の暮らし向きについて、「良くなっていく」（「非常に良くなっていく」「少しは良くなっていく」と回答した割合は11.7%で、「悪くなっていく」（「少し悪くなっていく」「非常に悪くなっていく」）は46.7%となっている。

前回調査と比較すると、「良くなっていく」の割合は1.7ポイント減少、「悪くなっていく」の割合は1.2ポイント増加とほぼ横ばいである。



(単位:%)

<属性による比較>

【生活圏別】

「良くなっていく」と回答した割合は、広島地方生活圏が12.6%と高く、最も低い備北地方生活圏(7.4%)と比べると5.2ポイント上回っている。

【性別】

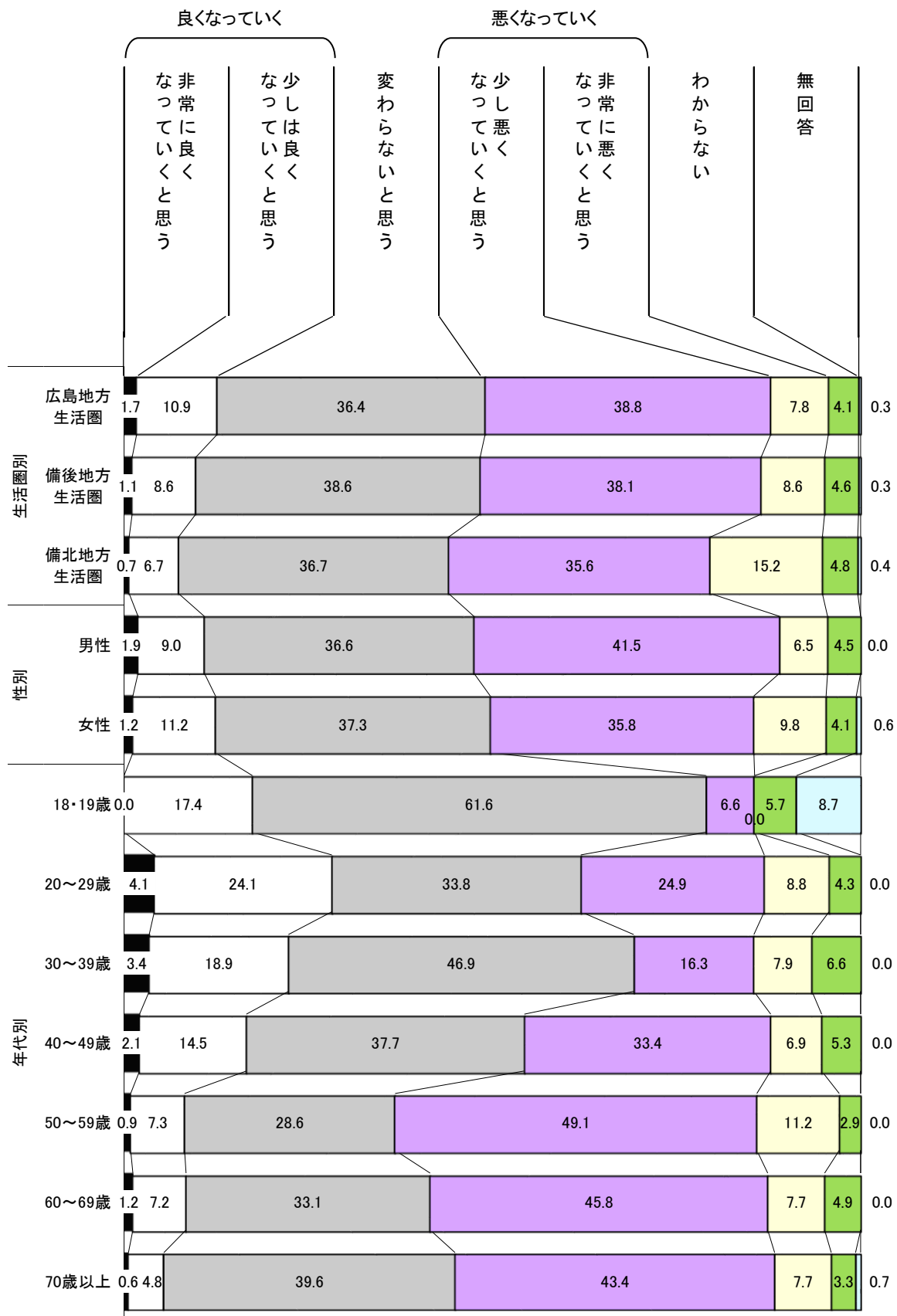
男性の「悪くなっていく」と回答した割合は48.0%と、女性(45.6%)より2.4ポイント高くなっている。

【年代別】

20歳代で「良くなっていく」と回答した割合は28.2%と、すべての年代の中で最も高く、70歳以上は5.4%と最も低くなっている。

また、50歳代以上の「悪くなっていく」は5割～6割を占め、他の年代に比べて高くなっている。

今後の暮らし向き(生活圏, 性, 年代別)



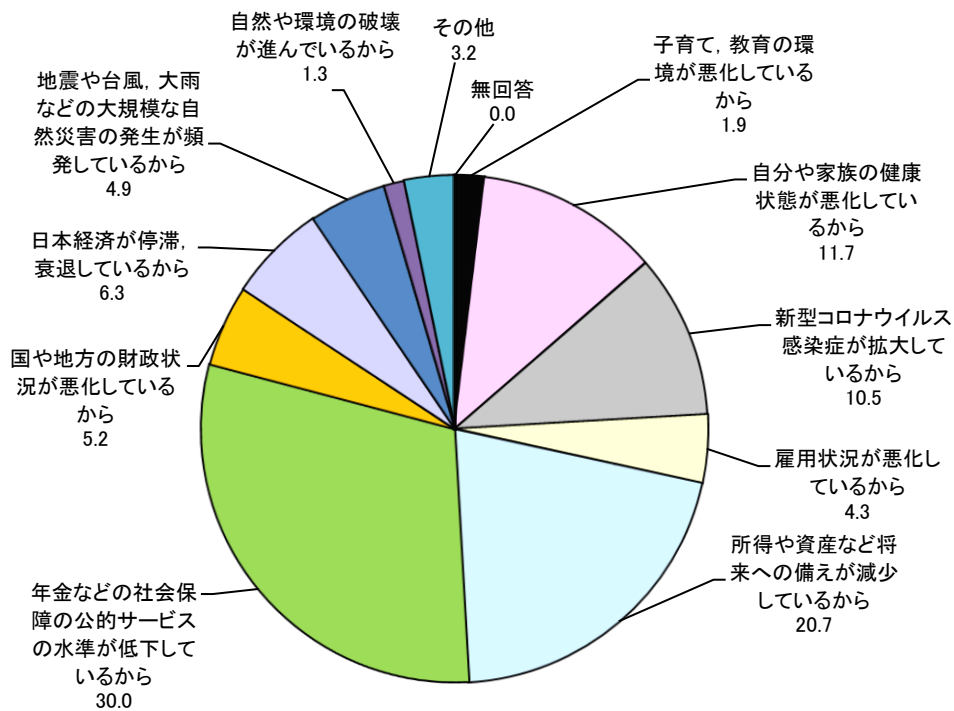
(単位: %)

(3) 今後の暮らしで不安なこと

問3 問2で「少し悪くなっていくと思う」または「非常に悪くなっていくと思う」と回答した方にお聞きします。そのように思ったのはなぜですか。もっともあてはまるものを1つだけ選んでください。

**「年金などの社会保障の公的サービスの水準が低下しているから」
「所得や資産など将来への備えが減少しているから」
が上位**

今後の暮らしで不安なことについて、「年金などの社会保障の公的サービスの水準が低下しているから」と回答した割合は 30.0%で最も高く、次いで「所得や資産など将来への備えが減少しているから」(20.7%)となっている。



〈属性による比較〉

【生活圏別】

全ての生活圏で「年金などの社会保障の公的サービスの水準が低下しているから」と回答した割合が高い。その中で、備後地方生活圏が 35.8%と最も高く、最も低い備北地方生活圏(25.5%)と比べると 10.3 ポイント上回っている。

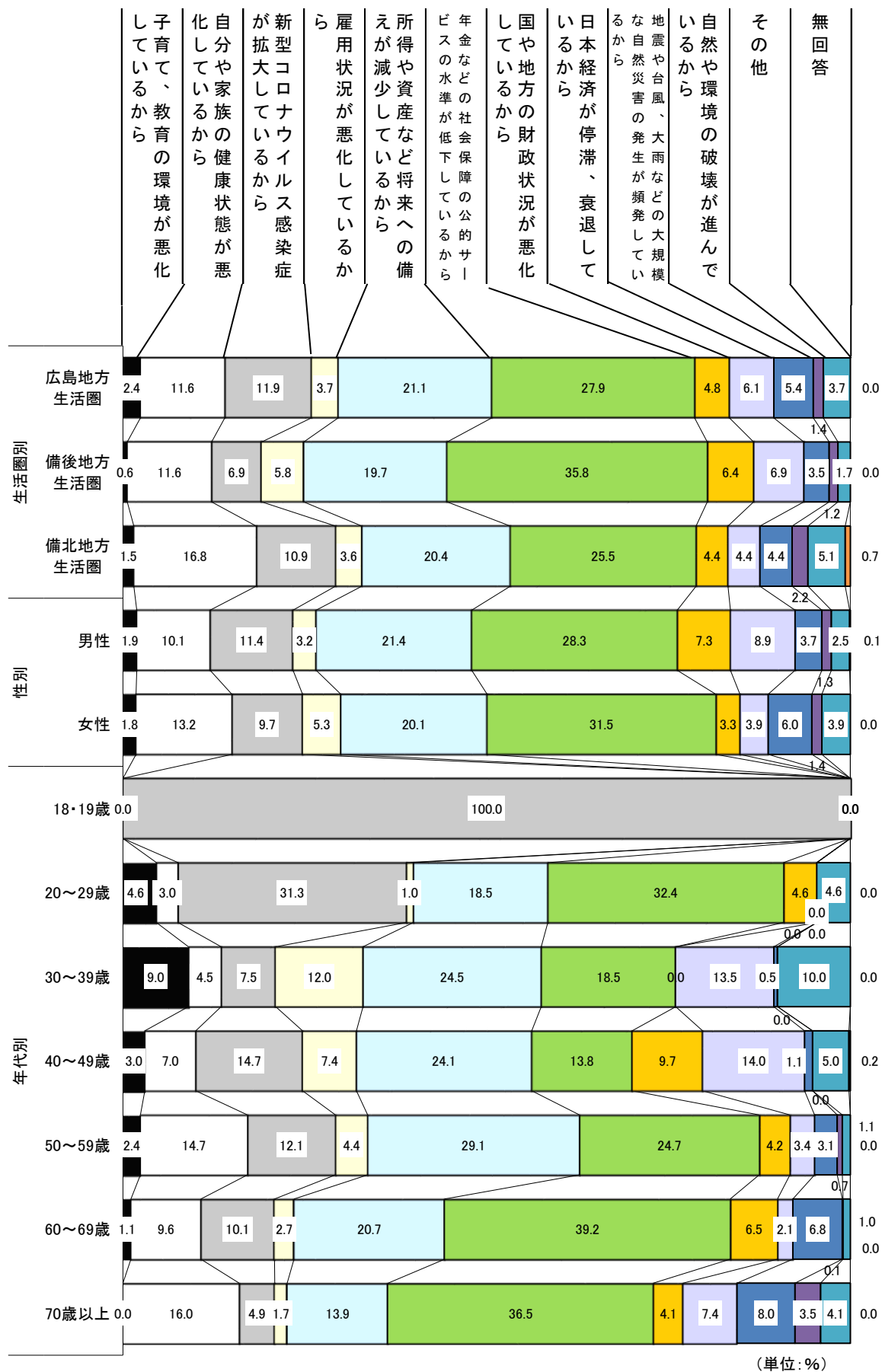
【性別】

男性は「日本経済が停滞、衰退しているから」(8.9%)が女性(3.9%)と比べて 5.0 ポイント高く、女性は「年金などの社会保障の公的サービスの水準が低下しているから」(31.5%)が男性(28.3%)と比べて 3.2 ポイント高い。

【年代別】

18・19 歳は「新型コロナウイルス感染症が拡大しているから」が 10 割を占めている。20 歳代及び 60 歳以上は「年金などの社会保障の公的サービスの水準が低下しているから」が3割を超えて高い。30～50 歳代は「所得や資産など将来への備えが減少しているから」が高くなっている。

今後の暮らしで不安なこと(生活圏, 性, 年代別)

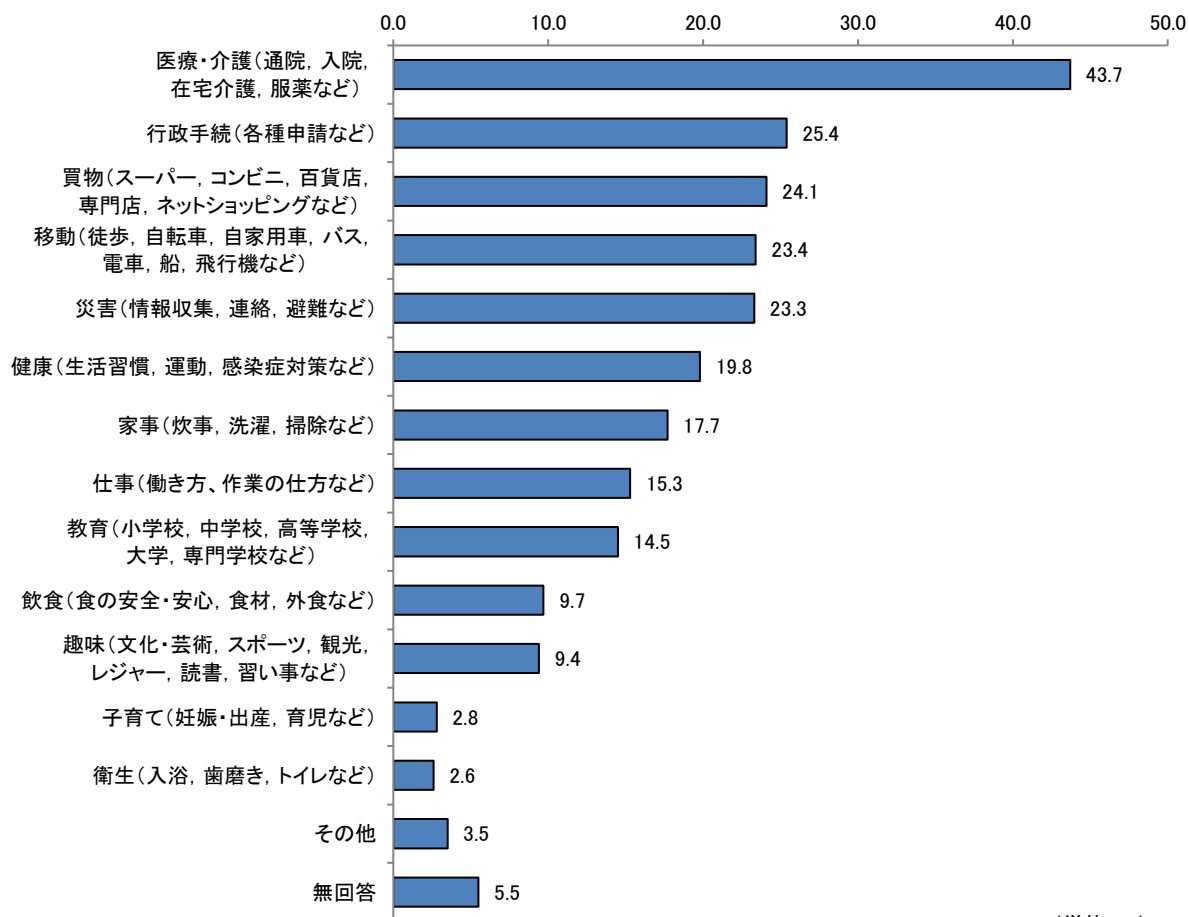


(4) デジタル技術で便利にしたい暮らしの場面

問4 あなたは、今の暮らしの中で、デジタル技術(AI, クラウド, IoT, スマートフォン, ロボット等)を活用して便利にしたい場面はありますか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

「医療・介護」「行政手続」「買物」「移動」「災害」が上位

デジタル技術で便利にしたい暮らしの場面について、「医療・介護」と回答した割合は43.7%で最も高く、次いで「行政手続」(25.4%)、「買物」(24.1%)、「移動」(23.4%)、「災害」(23.3%)の順となっている。



(単位: %)

<属性による比較>

【生活圏別】

全ての生活圏で「医療・介護」と回答した割合が高い。その中で、備後地方生活圏が48.1%と最も高く、最も低い備北地方生活圏(41.9%)と比べると6.2ポイント上回っている。

【性別】

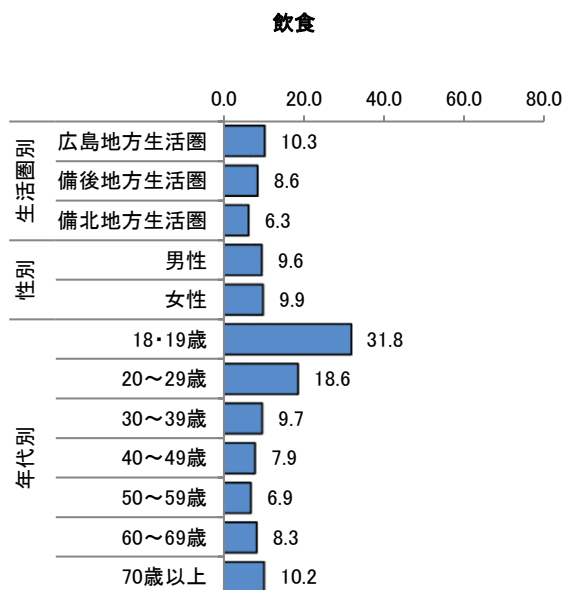
男性は女性と比べて「行政手続」(28.9%)が6.6ポイント、「仕事」(18.7%)が6.4ポイント上回っている。

女性は男性と比べて「家事」(22.8%)が11.1ポイント、「買物」(26.7%)が5.5ポイント上回っている。

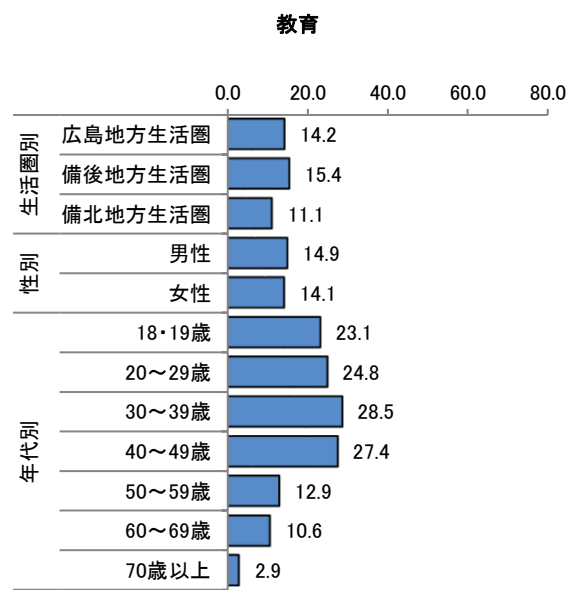
【年代別】

18・19歳は「飲食」が3割を超えて高く、20歳代及び40歳以上は「医療・介護」が25%を超えて高い。また、30歳代では「行政手続」が高くなっている。

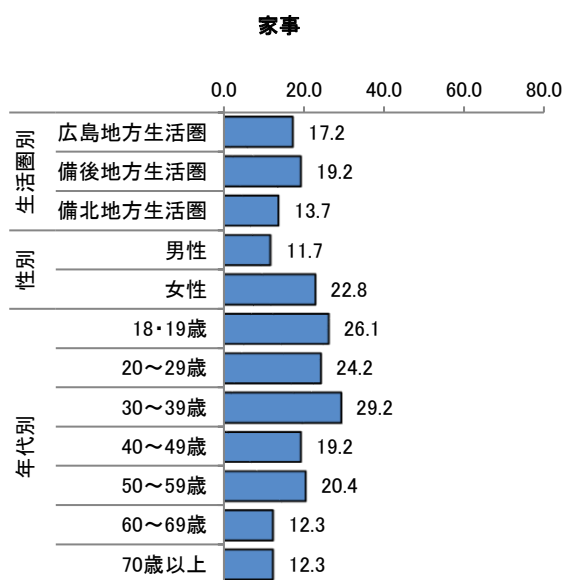
デジタル技術で便利にしたい暮らしの場面(生活圏, 性, 年代別)



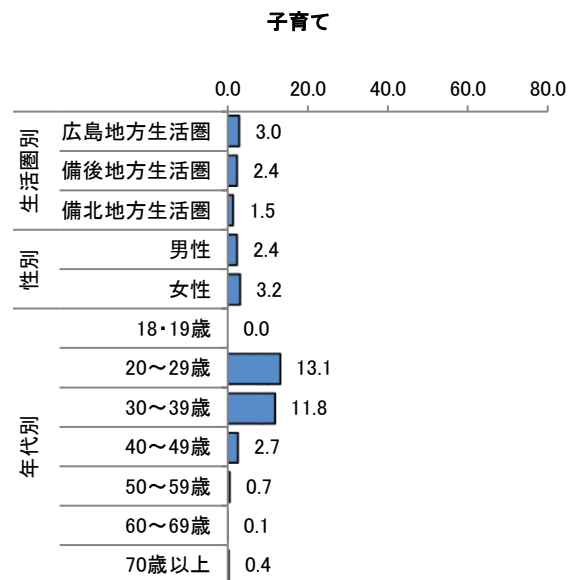
(単位: %)



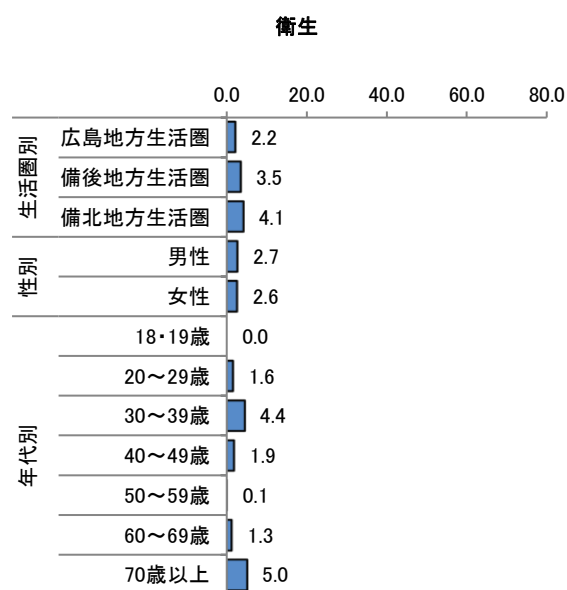
(単位: %)



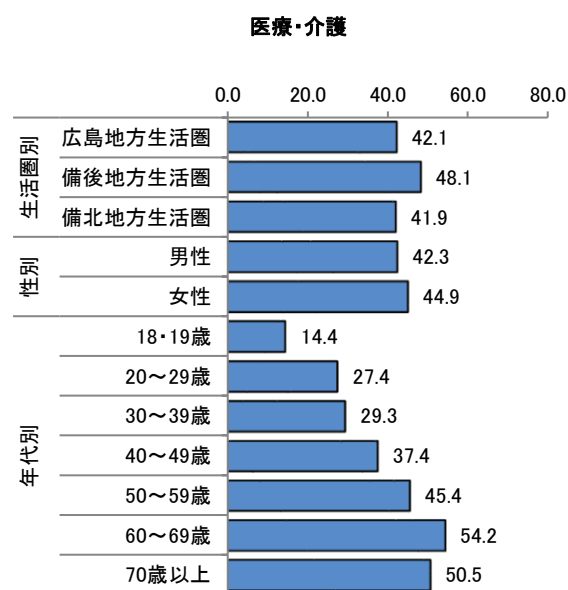
(単位: %)



(単位: %)

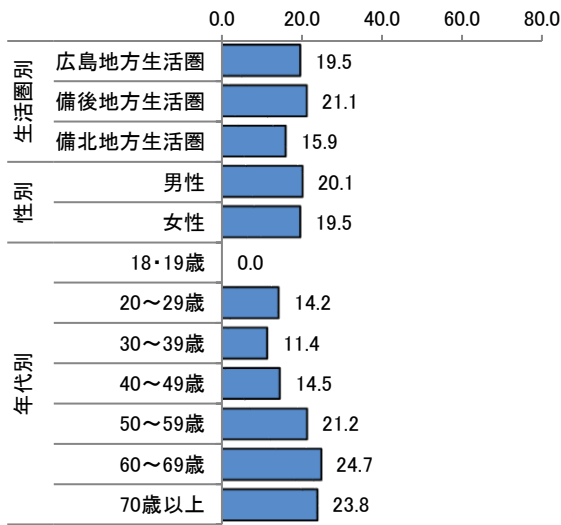


(単位: %)



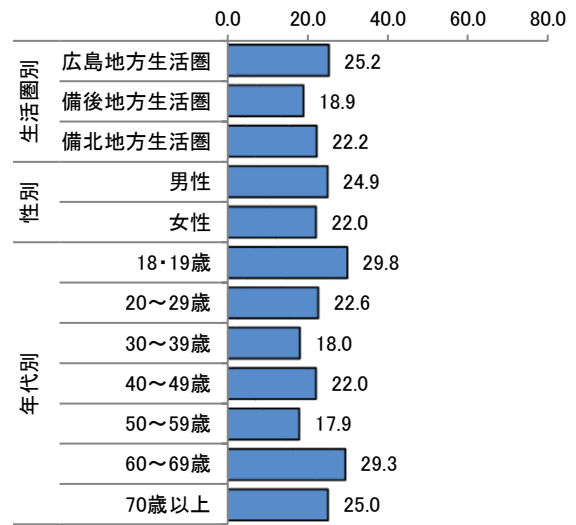
(単位: %)

健康



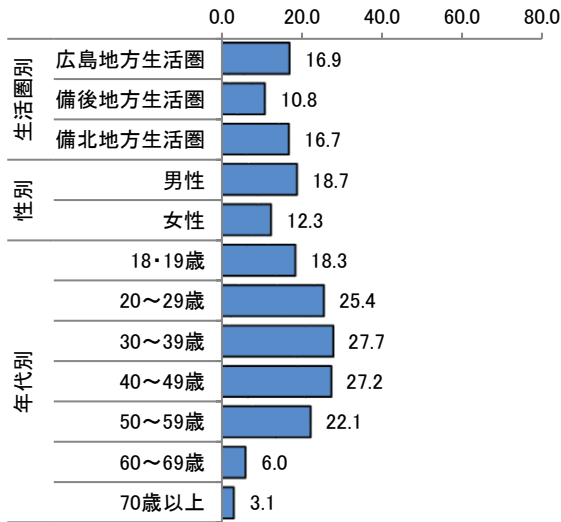
(単位: %)

移動



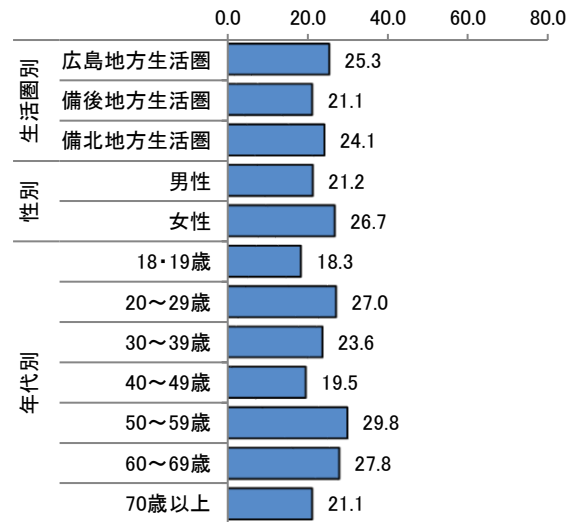
(単位: %)

仕事



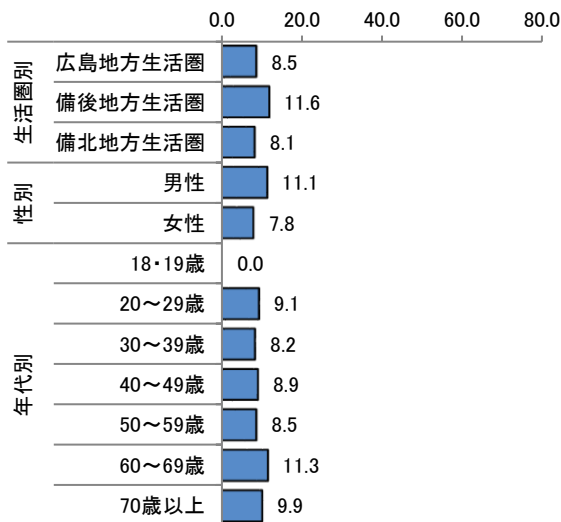
(単位: %)

買物



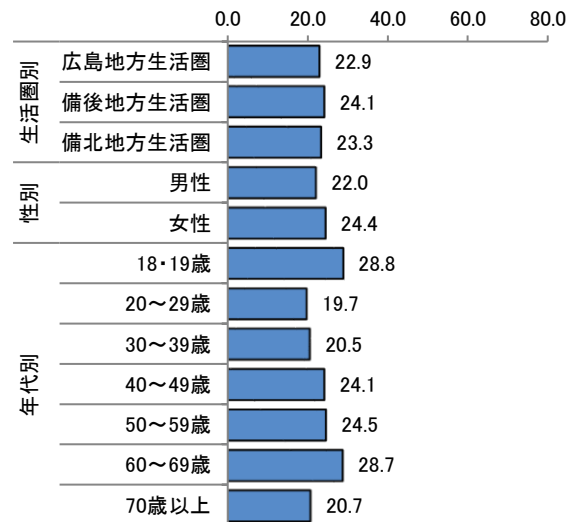
(単位: %)

趣味



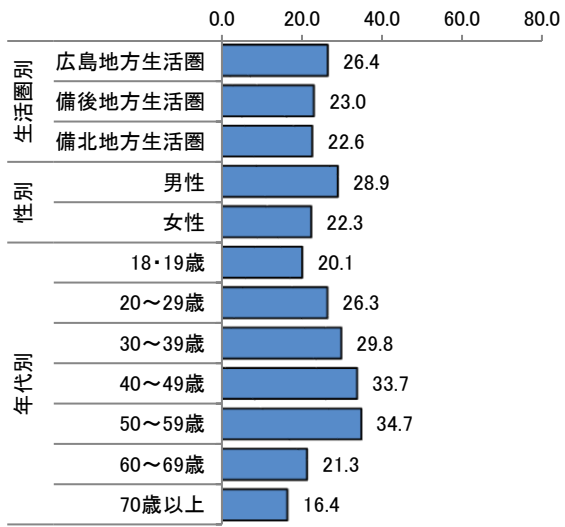
(単位: %)

災害



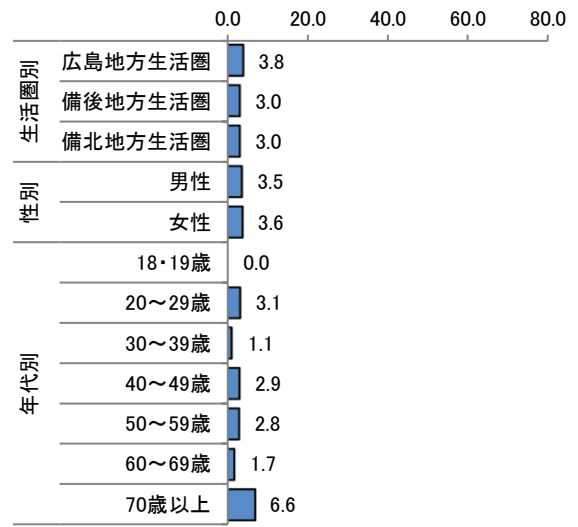
(単位: %)

行政手続



(単位:%)

その他



(単位:%)

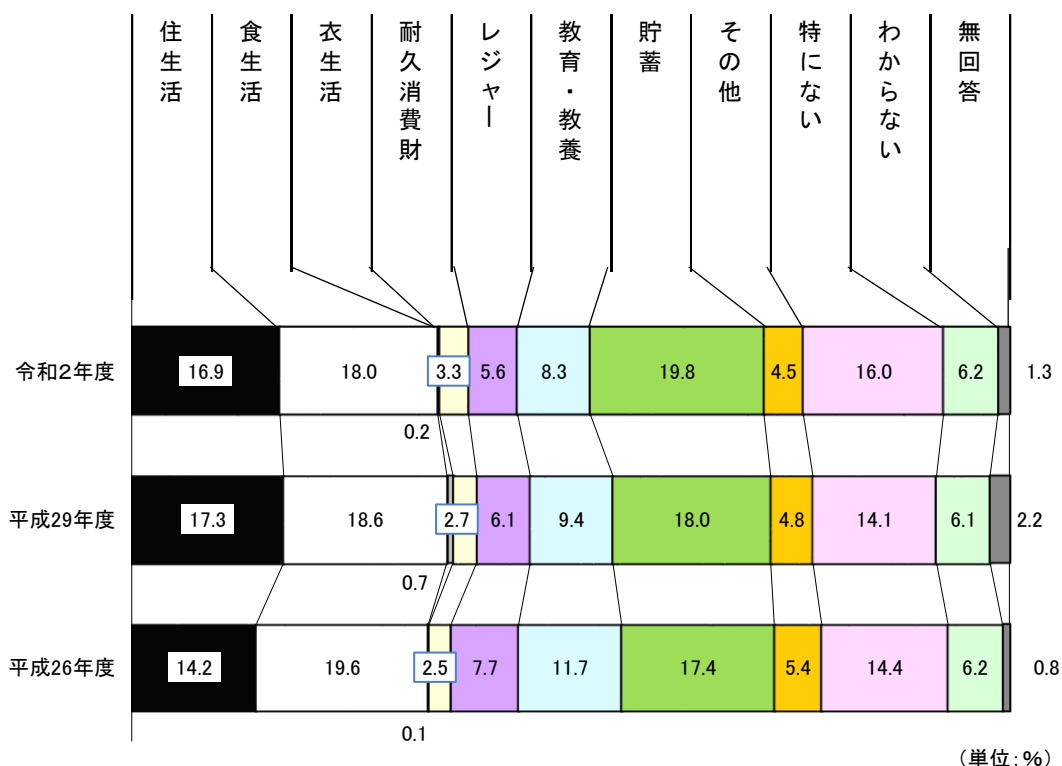
(5) 今後の暮らしの力点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような面に力を入れていきたいと思いますか。特に力を入れたいと思うものを1つだけ選んでください。

「貯蓄」「食生活」「住生活」「教育・教養」が上位

今後の暮らしの力点について、「貯蓄」と回答した割合は 19.8%で最も高く、次いで「食生活」(18.0%)、「住生活」(16.9%)、「教育・教養」(8.3%)の順となっている。

前回調査と比較すると、「貯蓄」、「耐久消費財」が増加している。



<属性による比較>

【生活圏別】

各生活圏で最も回答した割合が高いものをみると、広島地方生活圏は「貯蓄」(21.0%)、備後地方生活圏と備北地方生活圏ではともに「住生活」(備後:19.7%、備北:23.3%)となっている。

【性別】

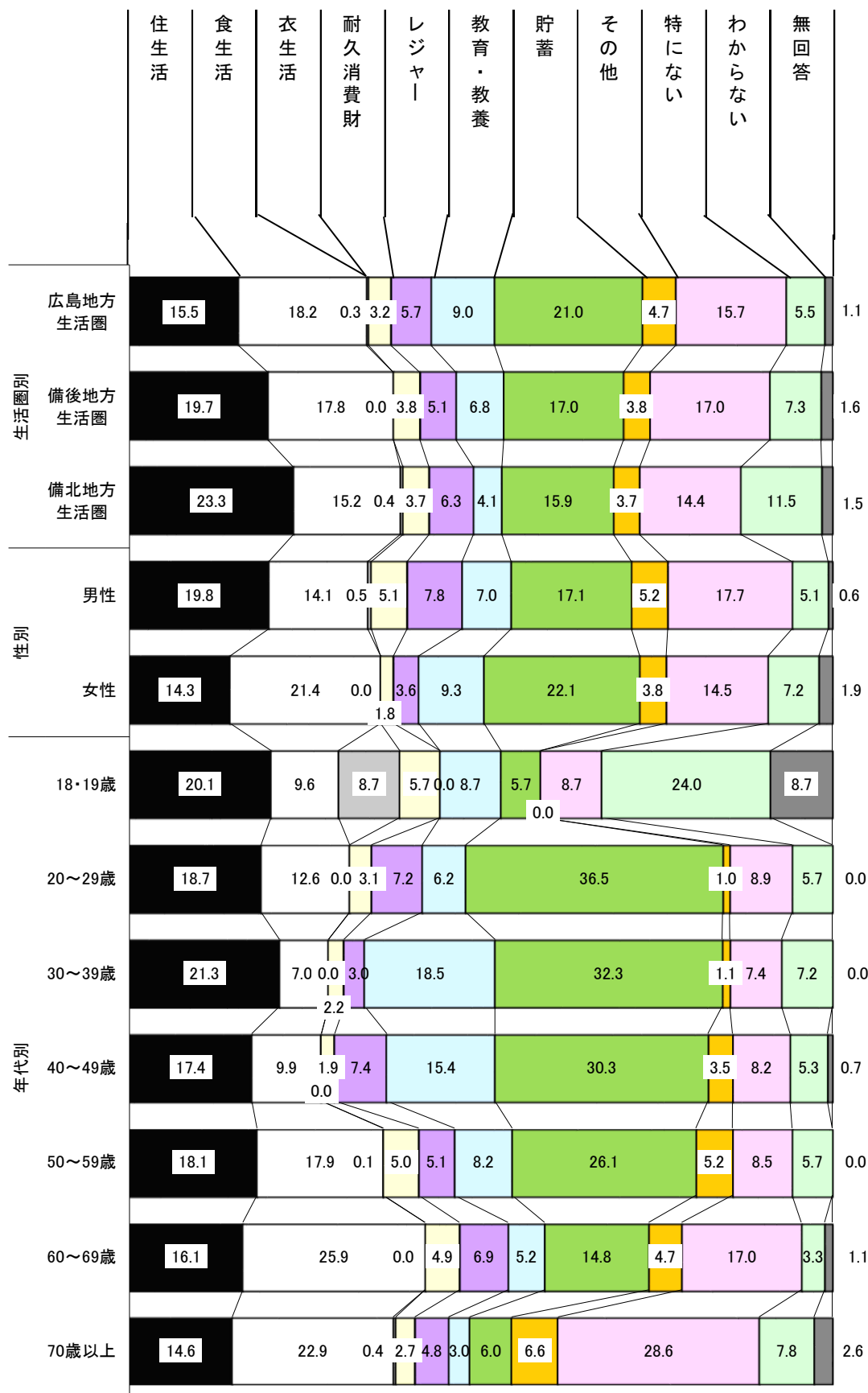
男性は女性と比べて「住生活」(19.8%)が 5.5 ポイント、「レジャー」(7.8%)が 4.2 ポイント上回っている。

女性は男性と比べて「食生活」(21.4%)が 7.3 ポイント、「貯蓄」(22.1%)が 5.0 ポイント上回っている。

【年代別】

18・19歳は「住生活」が高く、20～50歳代は「貯蓄」が25%を超えて高い。また、60歳以上では「食生活」が高くなっている。

今後の暮らしの力点(生活圏, 性, 年代別)



(単位:%)